

なななななな
ウォーキング

大山道

Ohyamamichi

世田谷を
東西に走る古道、大山道。
ウォーキングをしながら
なぞなぞに答えよう！
なぞの答えの中に隠れている
キーワードをつなぎ合わせると
ミッションが浮き出てくるよ！

なぞなぞ ウォーキング 大山道

を持って、
まち歩きをしながら
なぞを解くと、
楽しさ倍増！
さあ、でかけよう！



なぞ1~3は、
場所が特定されない
なぞなぞです



そもそも、 大山に何をしに行ったの？

- ① トレッキング
- ② 大山の神社関係者が江戸の人を誘った
- ③ 江戸の人がハンティング（狩猟）に出かけた

答えは次ページ下

大山の山頂には、五穀豊穡、商売繁盛で信仰を集める阿夫利神社があります。また雨降山大山寺も不動信仰の中心地として有名でした。

江戸時代、神社の御師（おし）たちは江戸の人々に御札をくばり、神社への参拝をうながしました。宿泊や参拝ルートの手配もして、現代のツアーコンダクターのようです。一方の江戸の人々も、地域ごとに大山講と呼ばれる講（参詣をする信者の団体）をつくって順番に御参りし、信仰と娯楽も兼ねていました。

更に、「大山に雲がかかると雨が降る」というので農民の信頼も厚く、干ばつのときには村の代表が滝水を貰いに何度も登拝しました。



キーワード
大山の「や」
→ P24へGO!

江戸時代に発行された、大山詣の観光ガイド的な絵

なぞ2の答えは ① 目的地を名付けた

昔の道の名前は、 どうやってつけたのかな？

- ① 目的地を名付けた
- ② 出発地を名付けた
- ③ お殿様の気まぐれで名付けた

答えは前ページ下

大山道は、江戸の人たちが相模国（さがみのくに・現、神奈川県）大山に向かって行く道です。いろいろな方向から大山に向かっており、全て大山道です。世田谷にある大山道は、大山から見ると「江戸道」になります。



大山に向かう
さまざまなルート

キーワード
大山の「を」
→ P24へGO!

なぞ1の答えは ② 大山の神社関係者が江戸の人を誘った

なぜ

3

大山道に「上町から用賀ルート」 「駒沢から桜新町ルート」 2つのルートがあるのはなぜ？

- ① 江戸時代の近道
- ② お殿様（将軍や大名）が通る道と、庶民の通る道が分けられていた
- ③ 明治時代、玉川電気鉄道をつくるために道路を作った

答えは次ページ下



江戸時代中期から後期にかけて、江戸庶民の間で大山講がつくられ、爆発的に大山詣でが盛んになります。矢倉沢往還を三軒茶屋で分かれて新町（現桜新町）を通過して多摩川を渡る近道（現国道 246 号線）ができて、こちらが本道になりました。



日本橋から大山道を通って川崎の名所まで行く江戸時代の道案内

キーワーズ
近道の
「み」

P24へGO!

なぞ4の答えは

① 軍事施設がたくさんあったから

なぞ

4

池尻、三宿、下馬のあたりに 集合住宅が多いのはなぜ？

- ① 軍事施設がたくさんあったから
- ② 農耕に適さない土地があったから
- ③ 繁華街の三軒茶屋が
人気だったから

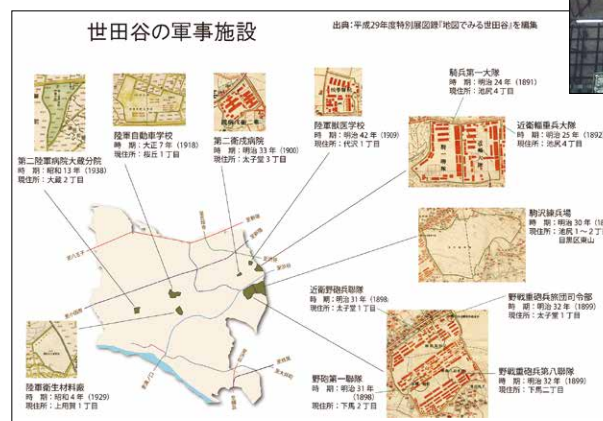
➡ 答えは前ページ下

太平洋戦争後、使われなくなった兵舎や練兵場は朝鮮半島や満州などからの引き揚げ者、戦災で家を失った人、復員した兵隊のための住宅が作られ、集合住宅や公営住宅として提供されました。

今も使われている倉庫



元軍関係エリアの現在のマップ



キーワード
あったからの
「あ」

P24へGO!

なぜ3の答えは

① 江戸時代の近道

なぞ

5

池尻稲荷神社には、旅人の疲れを
をいやすスポットがあります。
それは为什么呢？

- ① 疲れをいやす温泉
- ② おいしいお酒とつまみを出す居酒屋
- ③ 渴いたのどをうるおす冷たい水の井戸

答えは次ページ下

その昔、江戸市中・赤坂から池尻までの間には、飲料に適した水場がなく、往来する人は皆、池尻稲荷神社の井戸水を頼りにしたそうです。どんなに渇水の時も、水が涸れることがないので、「涸れずの井戸」と云われました。

池尻稲荷神社と、
ちょうずばち
手水鉢



「ワープ」
うるおすの
「る」

→ P24へGO!

なぞ6の答えは ② 大山道の道しるべ

なぞ

6

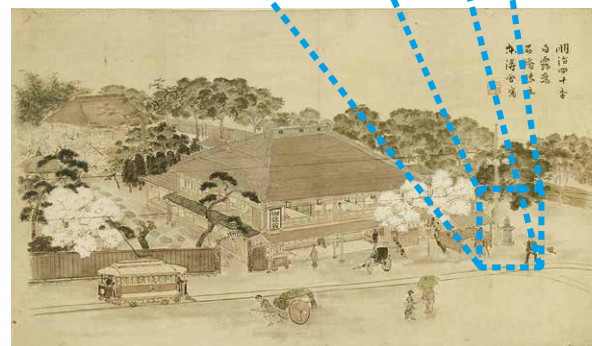
この古い絵は玉川電車が開通
した頃の三軒茶屋の様子を
描いたものです。このなかで
現存しているのはどれ？

- ① 料理屋の建物
- ② 大山道の道しるべ
- ③ 黒塀と松

答えは前ページ下



右はしの電柱の下、「大山道」と石に彫られた道しるべが描かれています。世田谷通りと国道246号線の分岐点、東急田園都市線「三軒茶屋駅」の世田谷通り口近くに現存しています。



明治時代に描かれた三軒茶屋の風景の中にも、この道しるべがあります

「ワープ」
大山道の
「お」

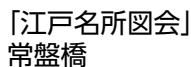
→ P24へGO!

なぞ5の答えは ③ 渴いたのどをうるおす冷たい水の井戸

ときわづか

- 答えは次ページ下

常盤姫は実在の人物ではありませんが、物語の舞台となった場所が名所となりました。



キーンと
お墓の
「お」

P24^GO!

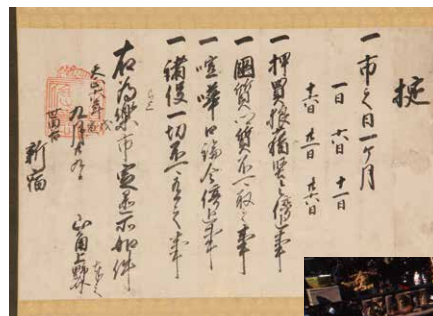
常盤塚

なぜ8の答えは

② 堺市

➡ 答えは前ページ下

江戸時代には歳の市となり、また明治時代には暦の変更から1月にも開催されるようになりました。



ボロ市の起源・
楽市掟書



ボロ市の様子

キーンと
ボロ市の
「ち」

P24^GO!

なぜ7の答えは

③ 常盤姫のお墓

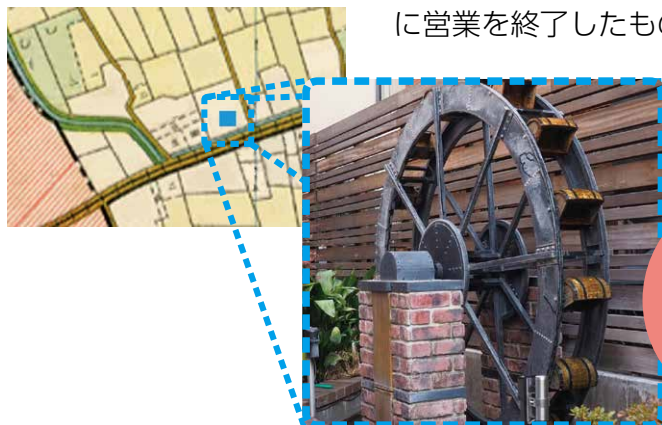
なぞ
9

桜新町 2-26 で現在マンションになっている場所には
その昔、水車がありました。
ここにあった水車は何の
ために作られたでしょう？

- ❶ 水車をまわして発電するため
- ❷ 水車のある風景を楽しむため
- ❸ 米の精米と小麦を製粉するため

答えは次ページ下

この水車は、品川用水に水を引き込み精米と製粉に使用されていました。明治 19 年 (1886) 1 月新設、水輪直径 1 丈 8 尺 (約 5 メートル 45 センチ)、搗き臼大小 21 台、挽き臼が 1 台ありました。営業を停止した年は不明ですが、昭和 25 年 (1950) から 2 年かけて品川用水が埋め立てられているので、その頃までに営業を終了したものと思われます。



現在復元された
水車

キーワード
小麦の
「こ」

→ P24へGO!

なぞ10の答えは

- ❶ 村を守るため

なぞ
10

桜新町 2-27 地蔵は、
なぜここに建っている？

- ❶ 村を守るため
- ❷ お地蔵さんの前にろうそくを立てて街路灯の代わりにするため
- ❸ お供え (お水・お花・お菓子) をもらうため

答えは前ページ下

ここは江戸時代、新町村と用賀村の境目でした。

村の外から悪い (病気や災いをもたらすもの、害虫など) のものが入ってこないように、村の中を守って貰うと共に、村人が村から外へ出た時に安全に戻れるようにとの願いからこの場所に建っています。



村の境界にある
お地蔵様は、
この祠の中に
います

一回休み

なぞ9の答えは

- ❸ 米の精米と小麦を製粉するため

玉川台 2-3 にある延命地蔵 のところで大山道が分かれ ているのはなぜ？

- ❶ 多摩川の渡しの場所がかわるため
- ❷ 季節によって通る道を分けたから
- ❸ 坂の上りと下りで通る道が決めて
られていたから

答えは次ページ下

昔の多摩川は大雨になると洪水になり、
流れが変わってしまう暴れ川でした。船
が寄りつく場所も洪水や大雨の跡の状況
で変わってしまいました。そこにたどり

着くための道も行善寺前の道、
ひとつ西側の慈眼寺前を通る
道、と変化したのです。

延命地蔵のところで道が分かります
左の道を行くと行善寺の前に出て、
右の道を行くと慈眼寺の前に出ます



キーワード
多摩川の
「ま」

→ P24へGO!

なぜ12の答えは

- ❷ 汗をかくほどの急坂。カイロいらず

行火（あんか）坂の由来は？

- ❶ 夜暗いので明かりを灯したから
- ❷ 汗をかくほどの急坂。カイロいらず
- ❸ 赤土の坂という意味の
「赤坂」がなまった

答えは前ページ下

この坂は、勾配（斜度）が急なため、登ると冬でも
懐にあんかを入れているように身体が熱くなるの
で「あんか」坂との名が付いたと言われています。
ちなみに「あんか」は炭を入れて手足や懐を暖め
る暖房具で、今のカイロのことです。



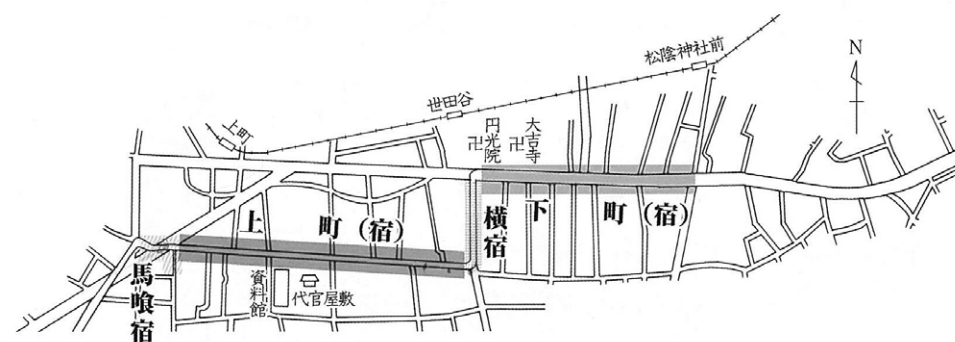
傾斜のキツイ
行火坂

キーワード
急の
「う」

→ P24へGO!

なぜ11の答えは

- ❶ 多摩川の渡しの場所がかわるため





写真で見る大山道

旧道の雰囲気



代官屋敷



常盤塚



松蔭神社への参道



庚申塔と富士登山拝碑



まっすぐな水道みち
駒沢給水塔まで直線の道がひかれ、道路の下を上水が流れています



常盤陸橋からの環七の眺め



キャロットタワー
三軒茶屋のランドマーク



大山道は尾根道
大山道から北に向けて、小さな水路があり緑道に流れ込んでいます



田中屋
三軒茶屋の名前の由来は、3つの茶屋があったから。その1つは田中屋で今は陶器屋さんです



大橋
池尻大橋の駅名になっている「大橋」から見る目黒川



首都高速換気塔
首都高速道路の車の排ガスを換気する構造物



旧道の雰囲気
道幅が狭く、緩やかにカーブしています



陸軍用地「駒沢練兵場」跡
駒沢練兵場の北端であったようです。この近くには、陸軍時代の倉庫が今も使われています



首都高速道路
昭和39年の東京オリンピックの翌年に完成した道路



23 行善寺
江戸時代、当寺からの眺望は絶景で、將軍徳川家慶の多摩川御成鮎漁の時の御膳所となりました



24 陸閘(りっこう)
陸閘とは、河川の堤防を通常時は通行出来るよう途切れさせ、増水時に塞ぐ施設です。



25 二子の渡し
川崎方面に川を渡ると、旅館、料理屋、商店など建ち並んでいました



22 瀬田夕日坂
人だけが往来している時は急坂を使っていますが、荷車やその後電車を通すには緩い坂が必要になりました。ここからは、急坂から緩い坂を見下ろした先に夕日が見えます



16 桜新町駅
桜新町はサザエさん商店街として有名です



17 大山道追分(用賀3-14)
この場所には文政10年(1827)に建てられた庚申塔がありました(現在は郷土資料館に移設)。石には「右江戸道、左世田谷四ツ谷道」と刻まれ、道標の役割も兼ねていました



18 用賀駅
コロセウムのようなデザインの駅前広場



19 田中橋
首都高速道路の下に川が流れています



大山道(玉電)を歩道橋から見る
「玉川通り」「環8通り」「246」の3つが交差する複雑な場所。しかし、大山道の道筋がよくわかります。ここはかつて玉電が走っていた道でもあります



20 延命地藏(玉川台2-3)
用賀村女念仏講中によって、安永6年(1777)に建てられた地蔵尊。ここから二子玉川に向かって二股に分かれます



なぞの答えに隠れていた
キーワードをつなぎあわせよう。
ミッションが浮き出てくるよ!

